



## ジャンクションプロデュースブティック泉南代表 上野真幸・不撓不屈の半生

# 運命

それは自分で変えるもの

### 第11回

いじめと借金で苦しみ続けた少年時代。  
クルマの楽しさに目覚めた高校時代。  
ジャンクションプロデュースの武富社長と出会い、  
自分が進むべき道を発見した20代。  
そして今また、目の前に立ちはだかる  
大きな山を登り始めた…!!

不撓不屈(ふとうふくつ)  
どんな困難に出会っても決して心がくじけないこと

上野真幸 Masayuki Ueno

一歩家を出たら何事にも全力投球。仕事も真剣、遊ぶときも真剣。クルマと船と家族を愛する、1974年7月17日生まれの37歳。座右の銘は「親しき仲にも礼儀あり」。有限会社ジャンクションプロデュースブティック(JUNCTION PRODUCE BOUTIQUE 泉南) 代表取締役。

■ジャンクションプロデュースブティック泉南  
〒599-0232 大阪府泉南市箱作 2129 TEL.072・476・6300

お客さんと一対一でじっくり向き合い、とことん話し合うというやり方。まさに、ショップとしての最高のおもてなし。俺は、ジャンクションプロデュースブティック泉南独自の、この完全予約制というシステムの手応えを大きく感じていた。

### 海外をまわって考えた俺のショップ理想形

大阪府豊中市でこのブティックを始め、阪南市に移転。経営は順調にいつているが、俺は、店そのものの規模を、はやく何とかせなあかんと感じていた。当時の店は、小さな2階建てのプレハブで、トイレは外に置く簡易式。隣には古びた廃墟の工場、お世辞にもかっこいいとは言えず、お客さんをもてなす理想のショップとは程遠いものだった。

だからこそ、その店のボロさを、お客さんととことん深く話し合うことで、しっかりとカバーする。…とはいつても、いつまでもこんな小さいショップではないはずがない。

この頃、今から6〜7年前、俺はジャンクションプロデュースの武富社長とともに、海外での大型カーショーやイベントへ積極的に出かけていった。アメリカのSEMAショーやドイツのエッセンモーターショーをはじめ、マレーシア、シンガポール、クアムなど、あらゆる地域のカーショーや有名チューナー、カーショップなど、自分の理想形とするショップのヒントを探すため、世界中に存在するパーツ業界のいろいろな姿をこの目で見てまわったのだ。

こうやって世界各国を転々とし、あちこのクルマ文化にふれているうちに、自分の中でひとつの明確な結論が出てきた。

### えげつないくらいにデカさそれが重要

それは、何よりも「デカけりやええ」ということ。ボロくても何でも店はデカいことが大事。1000坪、200坪じゃダメ。1000坪以上のズバぬけたもの。誰もが「えげつない広さやな、あそこ」と思わないこと。

## 「この新しい店で天下を取る!!」 大阪城を建てた秀吉と同じ気持ち

アメリカに行ったときは、ショールームやホテルの大きさに、下肝を抜かれた。目の前に見えるのに、それが大きすぎるがゆえに歩いて歩いてもまったく目的が近づかないという、ケタ違いのスケール。

その驚きがドイツに行つて確信に変わった。ロリンザーやブラバースも、遠くからドーンとその建物の存在がわかり、同時に自分のテンションは瞬時に最高潮となる。店を見たときの「オオ~~~~~~~~ッ!!」という気分の高まり、それがすごく大事。お客さんにはぜひとも同じ感覚を味わってもらいたい。

2012年春に「ジャンクションプロデュースブティック」がいよいよ設立10周年を迎えます。そこでこれまでの感謝の気持ちを込めて「10周年」=「10th Anniversaryフェア」を開催します! その内容は…なんと対象期間中に「ジャンクションプロデュースブティック」のエアロをご購入されたお客様全員に素敵な商品をプレゼント! しかも、プレゼントは3種類の中からご自由を選んで頂けます!! 新規の方も仕様変更の方もこの機会にぜひ! エアロ&グッズをGETして下さい!! 詳しくはジャンクションプロデュースブティック泉南(Tel.072-476-6300)まで。

好評更新中!!  
上野真幸のBLOG DESTINY  
ブログのキャッチフレーズは、「運命 それは自分で変えるもの」。携帯からもOK。  
<http://ameblo.jp/jpboutique/>



建物自体はボロくてもいい。でも「デカッ!!」…端から端までいったい何メートル? 高さも何メートルあんな。入り口どこ? 中はどうなってるんやろ?」

と、お客さんを驚かせる。実際に中に入ったら、異様に広い空間と高い天井。そこに展示してあるデモカーは別に多くなくてもいい。2〜3台もあれば十分。例えボロくても、中の商品が少なくても、とてつもない空間。それだけで説得力がある。お客さんが店のとんでもないキャパに圧倒されて、

「ク〜、何じゃコレ。ジャンクションプロデュース好きで良かった」と思ってくればOK。店の中に入ってきて、ひとまわりしている頃には少し疲れている、そんな感じ。

### 新店舗に移転して順風満帆 ところが……?

そんな思いで、今の場所にジャンクションプロデュースブティック泉南を移転させたのが2年前の夏。コンビニ跡地や大型靴店跡地など、数えきれないほどの物件を見て

まわり、偶然見つけたのが現在の店舗となる巨大倉庫。立地も広さも建物の迫りもイメージ通り。即決だった。

ここなら店の中に、あのジャンクションプロデュースのカーショーのブースを完璧に再現できる。自分の夢がやっと実現する。夢と言うより、究極の理想。やってやると自分に言い聞かせつつ、正直、心のどこかでは無理かも知れないと思っていた。でもそれが手に入る。こんなショップは日本中探してもないだろうと思った。

このときのうれしさは、もう何て言ってもいいかわからない。きつと、豊臣秀吉が大阪城を建てたときの気分と同じだったと思う。「これで天下人じゃ」という秀吉、「ここで天下を取ってやる」と言う俺。

ボロボロの狭い店で6年間やりきって、とうとうこここまでたどり着いたのだ。店にきたお客さんはビックリして帰っていく。この頃、子どもも生まれた。まさに、順風満帆。すべてがうまくいっていた。

しかし、突然とんでもないことが起こった。信頼していた店のスタッフ2人が、突然辞めていなくなってしまうのだ…!!

●スタッフが去り、たった一人になつてしまった上野真幸。この先いつたいつたどうなってしまうのか? 次号、最終回!!

(次号に続く)

今月の上野VOICE: 12月7日(水)に、大阪府立体育館で「兄弟ダブル世界タイトルマッチ 三兄弟揃い踏み亀田祭り2011」があります。タイトル通り三兄弟が試合するんですけど、その中でも今年の東京オートサロンでうちのブースに来てくれた大毅君が今回のメインやから、俺ももちろん会場へ見に行きます。テレビ中継もあるらしいから、会場に来れないみんなもTVで応援したってね〜!! 当日会場で見かけたら気軽に声掛けてね〜! 詳しくは上野のブログにて!!